ほけんだより

令和２年７月　虹のこころ保育園

梅雨はまだ続いていますが、少しずつ暑くなる日々が夏の訪れを感じさせてくれます。梅雨と夏の合間の、天気や気候の変化が大きい季節です。子どもたちの体調管理に気をつけながら、今月も楽しく過ごしていきたいと思います。

虫よけ剤の使用について

虫よけ剤は、スプレーやミストの他、リングやシールなど、様々なタイプのものがあります。保育園は、0歳からのお子さんが登園しており、**誤食防止のため虫よけ剤のお預かりは出来ません。**
虫にさされやすいお子さんは、自宅で虫よけ剤を使用してからの登園をお願いします。また、薄手の長袖・長ズボンを着用しても構いません。体操服の長袖・長ズボンは厚手の生地なので、必要なお子さんはご家庭で薄手のものをご用意ください。

＊7月のほけん行事＊

内科健診　30日(木)　9時～
頭髪検査　6日・20日(月)
身体測定　ひまわり、ゆり、ちゅうりっぷ　8日(水)
　　　　　すみれ、あじさい、よつば　15日(水)

気をつけましょう！夏の３大風邪

①咽頭結膜炎(アデノウイルス)＜登園許可書が必要となります＞
発熱(38-39℃)、のどの痛み、結膜炎といった症状が出ます。飛沫感染、接触感染、結膜あるいは上気道からの感染で高熱が比較的長く５日前後に及ぶこともあります。

②手足口病(コクサッキーウイルス、エンテロウイルス)
感染してから 3-5 日後に口の中、手のひら足底などに 2-3 ㎜の水疱性発疹が出るほかに３分の１に発熱が見られますが大半の発病者は数日間のうちに治ります。飛沫感染、接触感染、糞口感染が知られており全体の 90%前後を５歳下の乳幼児が占めています。

③ヘルパンギーナ(エンテロウイルス)
突然の発熱(38-40℃)と口腔粘膜に現れる水疱性発疹を特徴とした急性のウイルス咽頭炎です。感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。潜伏期間は 2-4 日で手足口病と同様に５歳以下が全体の 90%以上を占め中でも１歳代が最も多くなってします。
＜手足口病、ヘルパンギーナは医師から登園停止と診断された場合は、登園許可証明書が必要になります。医師から登園可能と診断された場合には、登園届の提出をお願い致します。登園届は、当園のホームページに掲載しています。＞

その他、夏に流行する病気

とびひ＜登園許可書が必要となります＞
皮膚にできた水ぶくれを掻きむしり、水ぶくれが破れて中の細菌がとびひしてしまい広がっていく皮膚の感染症です。夏場の高温多湿の時期多くなりやすいです。虫に刺された場合は早めに軟膏を塗るなどして処置をしましょう。汗をかいたらこまめに着替え、爪は短く切り、毎日シャワーを浴びて体を清潔に保つことが一番の予防法になります。子どもの間で感染しやすいので、家庭でもタオルの共有や、兄弟との入浴は控えましょう。